平成31年度事業報告

公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ（以下SSLという）は、奈良の文化・歴史・地域産業等についての調査研究活動ならびに各種の文化教室・生涯学習講座及び健康福祉の施設運営について広く地域社会に公開するとともに、地域の文化事業を支援することにより地域活性化に貢献することを目的としています。

平成31年度では、新型コロナウイルスにより令和2年3月9日より全講座の休講と休館を実施、その後も継続しています。これは、2月1日に指定感染症後、中国での「WHO調査報告書」に重症や死亡リスクとして持病のある人や高齢者（80歳を超えた感染者の致死率21.9%と5人に1人）が報告されました。これは、奈良ウェルネス倶楽部の主たる顧客であり、新型コロナウイルスに感染した場合の致死率が高く、受講生皆様の安全第一を考えたからです。平成31年度事業実績は以下の通りです。

(A) 総括

1. 「からだの健康づくり講座」及び「こころの健康づくり講座」等に関する企画運営事業 (公益目的事業1)

＜奈良ウェルネス倶楽部の運営＞

○通常講座運営

(講座状況)

【前期：4月～9月】 ・講座数 269講座 ・講師数 145名 ・受講件数 2,401件
【後期：10月～3月】 ・講座数 265講座 ・講師数 144名 ・受講件数 2,347件

※受講件数：前期は9月末時点、後期は新型コロナウイルス感染予防対策のため
3/9より休館のため、2月末時点の数値を使っております。

(平成31年度新設講座等)

- ・万葉集を読む、ゆったりヨガ、スペイン語 入門、笑顔の花咲かせま書♥、楽しいウクレレ
- ・今さら聞けない！仏像のいろは講座、誰でも吹けるハーモニカ入門、ストリートダンス
- ・基礎から学ぶタロットカード 実践・リーディング、歌謡舞いと舞踊小曲、
- ・心ウキウキ！お座敷小唄、はじめてのインプロ（即興演劇） 入門

○受講者募集活動

【前期：4月～9月】（春期講座募集）

- ・2/21新聞折込 配布部数12万部（奈良市、生駒市、大和郡山市、木津川市）

【後期：10月～3月】（秋期講座募集）

- ・8/22新聞折込 配布部数11.8万部（奈良市、生駒市、大和郡山市、木津川市）

○高齢者への出張講座

- ・「パルムドール学園前」・・・ヨガ講座、フラダンス講座

- ・「サンシティ木津」・・・書道講座

○企業・団体への講師派遣講座

- ・「年金受給者協会いきいき講座」・・・11/23（土）健康講習会
・・・12/21（土）歌声教室
- ・「奈良県教職員互助組合員講座」・・・12/1（日）園芸講座

○奈良県社会貢献事業

- ・お笑い福祉士ボランティア、独身者限定セミナー&交流会
- ・「なら結婚応援団」登録&実施（カルチャー体験型婚活、奈良県地域活性化婚活）

2. 地域社会に貢献するための経済・政治・文化ならびに諸制度に関する調査研究 (公益目的事業 2)

- 「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」のユネスコ無形文化遺産登録への活動展開
 - ・ 伝統建築の修理保存技術のみならず、新築・庭園・石垣等含む普請文化全体の登録に向け、シンポジウム・フォーラムの開催及びサポート
 - ・ 「普請文化フォーラム 2019」の開催 8月4日：松本浩氏(国土交通省)、上田忠司氏(榑竹中工務店)、津村泰典准教授(長岡造形大学)
- MMT研究会の共催
 - ・ 第1回研究会 7月17日：ステファニー・ケルトン教授(ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校)、松尾匡教授(立命館大学)、井上智洋准教授(駒澤大学)、飯田泰之准教授(明治大学、当法人理事)、川井徳子専務理事
 - ・ 第2回研究会 11月4日：ビル・ミッチェル教授(オーストラリア ニューカッスル大学)、松尾匡教授(立命館大学)、朴勝俊教授(関西学院大学)、井上智洋准教授(駒澤大学)、川井徳子専務理事、馬場正哲理事
- 安堵町の歴史的財産の発掘のための調査研究と関連する行催事の支援等
- 日本ESD学会のサポート
持続可能な社会を実現するための教育に関わる研究活動をサポート
- 「2018年度活動報告書」令和元年6月24日発行
英語パフォーマンス甲子園 伝統的空間に関連する匠の技を未来につなぐ・世界に発信する
安堵町 地域復興への支援 大学その他の機関との連携 奈良ウェルネス倶楽部 ほか

3. 伝統的日本文化の行催事等慣習・風俗・歴史の研究・保存・伝承並びに地域の行催事支援(公益目的事業 3)

- 「英語パフォーマンス甲子園」第2回大会の共催
大会共催約450名の来場者と来賓の方々のもと、奈良県及び大阪府から9校が出場、持続可能な未来や社会につなげる人材を育むというESD(Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育)実現へ、高校生が自らの文化や伝統、環境や習慣を探求しながら「本

当に伝えたいこと」を見つけ、国際言語である英語と言語を超えるパフォーマンスでそれを伝え競う大会共催

4. 経営革新等支援機関にかかわる業務(公益目的事業 4)

・平成 31 年度については該当事例なし

5. 寄付金、協賛金等

社団法人の事業運営については、奈良ウェルネス倶楽部の事業を厚生労働省所管の旧なら社会保険センターから継承した平成 19 年設立以来、継続して支援いただいている法人より、平成 31 年度は研究調査活動のため 9 百万円の寄付金を受領した。

(B) 会議等

平成 31 年度

- 5 月 22 日 理事会 (平成 30 年度事業報告・決算報告/平成 31 年度事業計画・予算)
- 6 月 26 日 社員総会 (平成 30 年度事業報告・決算報告/平成 31 年度事業計画・予算)
- 11 月 2 日 理事会(その他報告事項)
- 3 月 27 日 理事会(令和 2 年度事業計画・収支予算承認 その他報告事項等)

(C) 会員数

令和 2 年 3 月 31 日現在

個人会員	22 名(22 口)
法人会員	2 名(2 口)
計	24 名(24 口)

平成31年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので附属明細書は作成していません。